

授業科目名	グローバルキャンパスプログラム（環境デザイン）	科目コード	G3508F04
英文名	Global Campus Program (Environmental Design)		

科目区分	環境デザイン専攻科目 - 総合		
------	-----------------	--	--

職名	教授	担当教員名	川本 聖一
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科
曜日	集中講義	時限	集中講義
開講時期	2年・3年・4年前期・後期	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	2単位

授業の概要	日本の住宅の平均寿命は30年と言われてきた。それに比べて、アメリカは50年以上、イギリスは70年以上と言われている。長寿命な住宅デザインや住宅の供給システムが構築されてきた、アメリカやイギリスの住宅やその産業を実際に視察することにより、持続可能な社会における住宅デザインと住宅生産を考え、これからの日本の住宅関連産業を考えるきっかけを持つことを学生には期待している。本学の「住環境デザイン」においては、世界の住宅の歴史を学んだ。そこで学習した日本の住宅や建築デザインに大きな影響を及ぼした20世紀前半に活躍した建築家の作品を中心に視察を行う。アメリカにおいては、「フランクロイドライト」と「ミースファンデルローエ」であり、イギリスにおいては、「ウィリアムモリス」と「マッキントッシュ」である。また、特に環境を配慮してデザインされた建築や持続可能な社会システムを目指した街を中心に視察する。住宅関連産業の視察においては、実際に住宅をデザインしている設計会社のオフィスや、インテリア会社のショールームを訪れて、最新の業界情報を習得する。学生は英語で調べ、英語を用いて実体験をし、英語で現地の人とコミュニケーションをとって、海外の住宅の歴史と、住宅事情を学ぶ。なお、この研修は、アメリカへの研修とイギリスへの研修と隔年で実施予定である。（担当教員：企業での実務経験豊富）（関連SDGs：目標7、目標11、目標12）			
-------	--	--	--	--

キーワード	住宅寿命	環境と建築	世界の住宅史	アメリカの住宅	イギリスの住宅
-------	------	-------	--------	---------	---------

到達目標	「フランクロイドライト」と「ミースファンデルローエ」や「ウィリアムモリス」と「マッキントッシュ」の住宅に触れ、彼らのデザインの歴史上の意味を説明できる。（40%）			
	長寿命なアメリカやイギリスの住宅デザインや生産システムを日本と比較して説明できる。（30%）			
	アメリカやイギリスで、住宅関連産業の第一線で活躍している方々と、簡単な英語でコミュニケーションをとり、情報収集できる。（30%）			

ディプロマポリシー	3.スペシャリストとしての能力（専門性の向上）	2.国際人としての能力（専門性の向上）
カリキュラムポリシー	環境デザインに関する専門性の向上	

キー・コンピテンシー（重視する能力）				
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	<事前指導> 「フランクロイドライト」と「ミースファンデルローエ」や「ウィリアムモリス」と「マッキントッシュ」について概説する。また、昨年までの研修にの内容を学習する。	
	【予習】「フランクロイドライト」と「ミースファンデルローエ」や「ウィリアムモリス」と「マッキントッシュ」について下調べをする。	20分
	【復習】訪問予定の住宅や建築について、現地での調査内容をまとめる。	30分
第2回	<事前指導> アメリカやイギリスの住宅や建築に関わるの歴史について概説する。また、昨年までの研修にの内容を学習する。また、昨年までの研修にの内容を学習する。	
	【予習】アメリカやイギリスの住宅や建築に関わるの歴史について下調べをする。	20分
	【復習】訪問予定の住宅や建築について、現地での調査内容をまとめる。	30分
第3回	<事前指導> アメリカやイギリスの住宅デザインや住宅関連産業の特徴について概説する。また、昨年までの研修にの内容を学習する。また、昨年までの研修にの内容を学習する。	
	【予習】アメリカやイギリスの住宅デザインや住宅関連産業の特徴について下調べをする。	20分
	【復習】訪問予定のデザイン事務所やインテリアショップについて、現地での調査内容、質問内容をまとめる。	30分
第4回	<事前指導> アメリカやイギリスにおける環境を配慮してデザインされた建築や持続可能な社会システムを目指した街を紹介する。また、昨年までの研修にの内容を学習する。また、昨年までの研修にの内容を学習する。	
	【予習】環境を配慮してデザインされた建築や持続可能な社会システムを目指した街について下調べをする。	20分
	【復習】訪問予定の環境を配慮してデザインされた建築や持続可能な社会システムを目指した街について、現地での調査内容をまとめる。	30分
第5回	<アメリカやイギリスでの実習> 「フランクロイドライト」、「ミースファンデルローエ」、「ウィリアムモリス」、「マッキントッシュ」関連住宅視察 NO1	
	【予習】日本での事前レクチャー及び、自分で学習した内容を確認しておく。	10分
	【復習】視察の記録をまとめる。	30分
第6回	<アメリカやイギリスでの実習> 「フランクロイドライト」、「ミースファンデルローエ」、「ウィリアムモリス」、「マッキントッシュ」関連住宅視察 NO2	
	【予習】日本での事前レクチャー及び、自分で学習した内容を確認しておく。	10分
	【復習】視察の記録をまとめる。	30分
第7回	<アメリカやイギリスでの実習> 「フランクロイドライト」、「ミースファンデルローエ」、「ウィリアムモリス」、「マッキントッシュ」関連住宅視察 NO3	
	【予習】日本での事前レクチャー及び、自分で学習した内容を確認しておく。	10分
	【復習】視察の記録をまとめる。	30分
第8回	<アメリカやイギリスでの実習> 歴史上重要な住宅、建築物視察 NO1	
	【予習】日本での事前レクチャー及び、自分で学習した内容を確認しておく。	10分
	【復習】視察の記録をまとめる。	30分

第9回	<アメリカやイギリスでの実習> 歴史上重要な住宅、建築物視察 NO2	
	【予習】日本での事前レクチャー及び、自分で学習した内容を確認しておく。	10分
	【復習】視察の記録をまとめる。	30分
第10回	<アメリカやイギリスでの実習> 住宅関連産業視察（住宅デザイン事務所を予定） NO1	
	【予習】日本での事前レクチャー及び、自分で学習した内容を確認しておく。	10分
	【復習】視察の記録をまとめる。	30分
第11回	<アメリカやイギリスでの実習> 住宅関連産業視察（インテリアショップを予定） NO2	
	【予習】日本での事前レクチャー及び、自分で学習した内容を確認しておく。	10分
	【復習】視察の記録をまとめる。	30分
第12回	<アメリカやイギリスでの実習> 環境を配慮してデザインされた建築や持続可能な社会システムを目指した街の視察 NO1	
	【予習】日本での事前レクチャー及び、自分で学習した内容を確認しておく。	10分
	【復習】視察の記録をまとめる。	30分
第13回	<アメリカやイギリスでの実習> 環境を配慮してデザインされた建築や持続可能な社会システムを目指した街の視察 NO2	
	【予習】日本での事前レクチャー及び、自分で学習した内容を確認しておく。	10分
	【復習】視察の記録をまとめる。	30分
第14回	<事後指導> 本グローバルキャンパスにおいて、各人が最も興味をもった項目について、一連の視察をパワーポイントにまとめてプレゼンテーションを行う。そのための準備である。	
	【予習】（特になし）	
	【復習】発準備を完成できなかった者は宿題となる。	120分
第15回	<事後指導> グローバルキャンパス視察発表会	
	【予習】発表会の準備を行う。	120分
	【復習】（特になし）	
第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	研修先での積極的な参加および質問などの発言、ならびに発表会でのプレゼンテーションにて総合的に評価する。		
使用資料 <テキスト>	オリジナルプリントを配布 各自フォルダーを用意して配布されたプリ	使用資料 <参考図書>	授業の内容はLINE上にアップするので、予 習・復習に活用することができる。必要に
授業外学修等	現地で視察する住宅、建築、関連施設はすべて事前調査をし、資料を作成して訪問する。また、現地での行動は、所在の把握、交通手段、タイムスケジュールなど学生が自ら計画を立てて行動しなければならない。現地での食事は自炊を原則とし、チームワークを構築し行わなければならない。住宅関連施設の訪問時はもとより、現地での行動では、周りの人や関係者と積極的に英語でコミュニケーションをとって進めることを学修する。		
授業外質問方法	オフィスアワーを中心に随時研究室にて質問を受け付ける他、メール、SNS、にて対応する。遅刻や欠席の連絡は事前にメールやLINEにて行うことを希望する。 メールアドレス：kawamoto@yuins.ac.jp SNS：https://www.facebook.com/Kawamoto.Laboratory?ref=aymt_homepage_panel		
オフィス・アワー	木曜日 2 時限（10：40～12：10） 研究室にて		